



# 文化芸術の活用による 地域社会の活力の創造

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）では、「文化芸術の活用による地域社会の活力の創造」と題した研修を下記のとおり開催します。

文化芸術活動のまちづくりにおける意義、文化施設の活用方策、人材活用等に関する講義・演習等により、地域に根ざした文化芸術を活用しながら地域社会の活力の創造を図ることについて学びます。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。

日程	令和4年2月14日(月)～2月18日(金) (5日間)
申込期限	令和3年12月10日(金)
対象	市区町村職員 中堅職員以上
定員	40名
経費	8,800円 食費を除く。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。
申込方法	当研修所ホームページの「募集中の研修」より申込を希望する科目を選択し、「電子申込」で申し込んでください。（「電子申込」が難しい場合には、「研修受講申込書」に必要事項を御記入の上、FAXにより送信してください。）
場所	市町村職員中央研修所 通称：市町村アカデミー

問合せ先 ♣ ♣ ♣ ♣ ♣

市町村職員中央研修所 研修部 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1  
TEL 043-276-3126 FAX 043-276-8484 URL <https://www.jamp.gr.jp>

※記載内容については、都合により変更となることもあります。あらかじめ御了承ください。

2月14日/月

13:30 - 15:00

受付

15:30 -

オリエンテーション・開講式

17:00 -

討議

課題演習

2月15日/火

9:00 - 12:00

講義

文化芸術の意義と活用

京都橘大学副学長

阪本 崇 氏

文化芸術の必要性、これまでの日本の文化政策の経過のほか、人口減少により縮小する日本社会においてこそ求められる文化芸術の活用について学びます。

13:00 - 17:00

講義・演習

文化施設のマネジメントと行政の役割

(有)空間創造研究所代表取締役

草加 叔也 氏

公立文化施設の役割と意義、指定管理者制度導入の課題と展望、文化施設の運営と評価、それに携わる職員の育成等、地域の文化施設のマネジメントを学びます。

17:00 - 17:45

討議

課題演習

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

2月16日/水

9:00 - 12:00

講義

文化芸術による地域の活力創出

(株)ニッセイ基礎研究所研究理事

吉本 光宏 氏

教育や福祉、地域創生等の様々な分野で大きな効果をもたらした国内外の事例を通して、地域の活力創出につながる文化芸術のあり方を学びます。

13:00 - 15:35

講義

文化芸術分野における効果的な広報・コミュニケーション

いわき芸術文化交流館アリオス支配人

長野 隆人 氏

ニーズに応じた質の高い取り組みを企画するとともに、十分な集客を実現するための広報について、興味を持ってくれる層を育てていくことも含め、実例から学びます。

15:50 - 17:45

討議

課題演習

